

4 工業用水道事業

(1) 業務実績

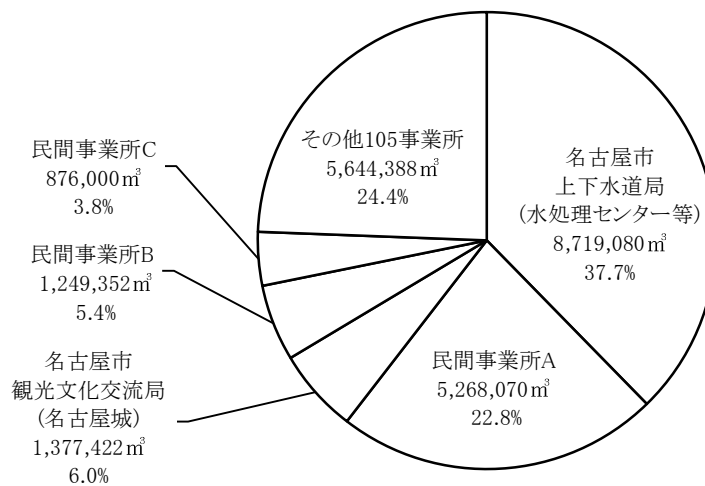
工業用水道事業における令和 4年度の業務実績を令和 3年度と比較してみると第 1表のとおりである。

第 1表 業務実績

区 分		令和 4年度	令和 3年度	比較増△減	前年度対比
給水量	年 間	m ³ 23,134,312	m ³ 22,926,337	m ³ 207,975	% 100.9
	1日平均	63,382	62,812	570	100.9
給水事業所数 (年度末)		か所 110	か所 112	か所 △ 2	% 98.2

給水量は年間 2,313万立方メートルで、前年度に比し 0.9%増加している。
年度末時点での給水事業所数は 110か所で、前年度に比し 2か所減少している。
なお、給水量及び給水事業所の状況は第 1図のとおりである。

第 1図 給水量及び給水事業所の状況



給水事業所は、上位 5事業所で全体の75.6%の給水需要を占めている。

【工業用水道事業】

(2) 予算執行状況

ア 収益的収入及び支出

令和4年度の予算執行状況は第2表のとおりである。

第2表 予算決算対照表（収益的収入及び支出）

(収入)						
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
工業用水道事業収益	1,089,144	100	1,063,124	100	△ 26,019	97.6
営業収益	963,096	88.4	912,655	85.8	△ 50,440	94.8
営業外収益	125,548	11.5	125,606	11.8	58	100.0
特別利益	500	0.0	24,862	2.3	24,362	4972.5

(支出)						
科 目	予 算 額		決 算 額		不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
工業用水道経営費	1,079,144	100	1,015,913	100	63,230	94.1
営業費用	994,344	92.1	906,751	89.3	87,592	91.2
営業外費用	84,299	7.8	84,299	8.3	0	100
特別損失	500	0.0	24,862	2.4	△ 24,362	4972.5

収益的収入は、予算額10億8,914万円に対し決算額は10億6,312万円で、予算額に対し97.6%の収入率である。

収益的支出は、予算額10億7,914万円に対し決算額は10億1,591万円で、予算額に対し94.1%の執行率である。なお、特別損失の決算額は予算額を超えているが、これは、新電力事業者との契約解除に伴う劣後的破産債権に係る貸倒引当金の繰入によるものであり、現金の支出を伴わない費用執行である。

主な不用額

(営業費用)

工事請負費	6,961万円	公共工事に伴う配水管移設 工事の受託が予定を下回っ たこと等による
-------	---------	---

イ 資本的収入及び支出

令和 4年度の予算執行状況は第 3表のとおりである。

第 3 表 予算決算対照表（資本的収入及び支出）

(収入)							
科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に比べ 決算額の増△減	収入率	
	金 額	構成比	金 額	構成比			
	千円	%	千円	%	千円	%	
資 本 的 収 入	13,051	100	4,179	100	△ 8,871	32.0	
出 資 金	2,051	15.7	1,285	30.7	△ 766	62.7	
そ の 他 資 本 収 入	11,000	84.3	2,894	69.3	△ 8,105	26.3	

(支出)							
科 目	予 算 額		決 算 額		翌年度 繰越額	不 用 額	執行率
	金 額	構成比	金 額	構成比			
	千円	%	千円	%	千円	千円	%
資 本 的 支 出	768,685	100	525,397	100	230,864	12,423	68.4
建 設 改 良 費	631,451	82.1	388,164	73.9	230,864	12,423	61.5
他 会 計 借 入 金 返 還 金	137,234	17.9	137,233	26.1	-	0	100.0

資本的収入は、予算額 1,305万円に対し決算額は 417万円で、予算額に対し32.0%の収入率である。これは、工費収入を伴う工事が予定を下回ったこと等によるものである。

資本的支出は、予算額 7億 6,868万円に対し決算額は 5億 2,539万円で、予算額に対し68.4%の執行率である。これは、翌年度繰越額 2億 3,086万円及び不用額 1,242万円によるものである。不用額は主に建設改良費の残である。

主な建設改良事業

配水管網の整備（海部郡大治町大字北間島字藤田地内等）	1億 8,482万円
工業用水道施設の整備（辰巳浄水場等）	1億 4,203万円

翌年度繰越額

工業用水道施設の整備（辰巳浄水場等）	1億 7,154万円
機器調達に時間を要したこと等による	
配水管網の整備（中川区昭明町4丁目地内等）	5,932万円
他企業との調整に時間を要したこと等による	

なお、資本的収入額 417万円と資本的支出額 5億 2,539万円の差額 5億 2,121万円については、留保資金等が充てられている。

【工業用水道事業】

(3) 経営成績

ア 損益の状況

令和 4年度と令和 3年度の比較損益計算書（要約）は第 4表のとおりである。

第 4表 比較損益計算書（要約）

区 分	令和 4年度		令和 3年度		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営業収益	831,977	84.7	799,672	86.4	32,304	104.0
給水収益	804,767	81.9	799,556	86.4	5,210	100.7
受託工事収益	27,210	2.8	116	0.0	27,094	23,424.8
営業外収益	125,571	12.8	125,446	13.6	125	100.1
受取利息及び 配当金	984	0.1	1,108	0.1	△ 123	88.8
長期前受金戻入	123,554	12.6	123,567	13.4	△ 12	100.0
雑収益	1,032	0.1	770	0.1	262	134.0
経常収益	957,548	97.5	925,118	100.0	32,430	103.5
特別利益	24,862	2.5	0	0.0	24,862	27,321,387.9
総収益	982,411	100	925,119	100	57,292	106.2

区 分	令和 4年度		令和 3年度		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
営業費用	879,039	94.0	824,460	96.3	54,579	106.6
人件費	24,946	2.7	25,189	2.9	△ 243	99.0
動力費	88,603	9.5	39,949	4.7	48,653	221.8
修繕費	4,594	0.5	8,143	1.0	△ 3,549	56.4
減価償却費等	578,378	61.8	584,925	68.3	△ 6,546	98.9
その他	182,516	19.5	166,252	19.4	16,264	109.8
営業外費用	31,298	3.3	31,778	3.7	△ 479	98.5
支払利息及び 企業債取扱諸費	21,294	2.3	21,773	2.5	△ 479	97.8
施設改良費	10,000	1.1	10,000	1.2	0	100
雑支出	3	0.0	4	0.0	△ 0	80.0
経常費用	910,338	97.3	856,238	100.0	54,099	106.3
特別損失	24,862	2.7	0	0.0	24,862	108,097,282.6
総費用	935,200	100	856,238	100	78,961	109.2

営業損益	△ 47,062		△ 24,787		△ 22,274	189.9
経常損益	47,210		68,880		△ 21,669	68.5
当年度純損益	47,210		68,880		△ 21,669	68.5
未処分利益剰余金	298,047		178,880		119,167	166.6

(注) 営業費用の構成内容は81ページを参照。

総収益は 9億 8,241万円で、前年度に比し 6.2%、5,729万円増加しており、総費用は 9億 3,520万円で、前年度に比し 9.2%、7,896万円増加している。この結果、当年度の純利益は 4,721万円となった。

イ 収益及び費用の状況

① 経常収益

経常収益は 9億 5,754万円で、前年度に比し 3.5%、3,243万円増加している。

主な変動理由

(営業収益)

受託工事収益	2,709万円の増加	公共工事に伴う配水管移設 工事の受託が増加したこと 等による
--------	------------	--------------------------------------

② 経常費用

経常費用は 9億 1,033万円で、前年度に比し 6.3%、5,409万円増加している。

主な変動理由

(営業費用)

動力費	4,865万円の増加	電気料金単価が上昇したこと 等による
-----	------------	-----------------------

③ 特別損益

特別利益は 2,486万円で、新電力事業者との契約解除に伴う劣後的破産債権等によるものである。特別損失は 2,486万円で、新電力事業者との契約解除に伴う劣後的破産債権に係る貸倒引当金の繰入によるものである。

【工業用水道事業】

ウ 人件費の状況

人件費の状況は第 5表のとおりである。

第5表 人件費の状況

区 分	令和 4年度	令和 3年度	比較増△減
	千円	千円	千円
経常収益 A	957,548	925,118	32,430
人件費 B	24,946	25,189	△ 243
定数内職員 (退職給付費を除く)	21,934	22,178	△ 243
定数外職員	0	0	0
退職給付費	3,011	3,011	0
	%	%	ポイント
人件費比率 B/A	2.6	2.7	△ 0.1
	人	人	人
職員数 (年度末)	2	2	0

(注) 職員数は定数内職員の現員数を掲げた。

職員数は、運転管理等を水道事業に委託しており、2人となっている。

(4) 財政状態

ア 資産・負債・資本の状況

令和 4年度末と令和 3年度末の比較貸借対照表（要約）は第 6表のとおりである。

第 6 表 比較貸借対照表（要約）

科 目	令和 4年度末		令和 3年度末		比較増△減	前年度 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
固 定 資 産	15,246,040	83.7	15,470,571	85.3	△ 224,530	98.5
構 築 物	3,910,445	21.5	4,042,461	22.3	△ 132,015	96.7
機 械 及 び 装 置	1,072,351	5.9	1,139,196	6.3	△ 66,845	94.1
建 設 仮 勘 定	262,180	1.4	29,826	0.2	232,354	879.0
ダ ム 使 用 権	9,500,725	52.1	9,750,968	53.8	△ 250,243	97.4
流 動 資 産	2,974,181	16.3	2,657,004	14.7	317,177	111.9
現 金 預 金	899,048	4.9	598,768	3.3	300,280	150.1
未 収 金	60,105	0.3	34,400	0.2	25,704	174.7
運 用 金	2,000,000	11.0	2,000,000	11.0	0	100
資 産 合 計	18,220,221	100	18,127,575	100	92,646	100.5
固 定 負 債	5,917,859	32.5	6,057,656	33.4	△ 139,796	97.7
他 会 計 借 入 金	5,843,527	32.1	5,981,241	33.0	△ 137,714	97.7
引 当 金	74,332	0.4	76,414	0.4	△ 2,081	97.3
流 動 負 債	523,345	2.9	228,476	1.3	294,869	229.1
他 会 計 借 入 金	137,714	0.8	137,233	0.8	480	100.4
未 払 金	383,368	2.1	84,882	0.5	298,485	451.6
繰 延 収 益	3,897,222	21.4	4,018,145	22.2	△ 120,923	97.0
長 期 前 受 金	3,897,222	21.4	4,018,145	22.2	△ 120,923	97.0
負 債 合 計	10,338,428	56.7	10,304,278	56.8	34,150	100.3
資 本 金	7,514,866	41.2	7,493,581	41.3	21,285	100.3
剰 余 金	366,927	2.0	329,716	1.8	37,210	111.3
利 益 剰 余 金	366,927	2.0	329,716	1.8	37,210	111.3
資 本 合 計	7,881,793	43.3	7,823,297	43.2	58,495	100.7
負 債 ・ 資 本 合 計	18,220,221	100	18,127,575	100	92,646	100.5

【工業用水道事業】

① 資産

資産合計は 182億 2,022万円で、前年度末に比し 0.5%、9,264万円増加している。

主な変動理由

(固定資産)

ダム使用权	2億 5,024万円の減少	減価償却が進んだことによる
建設仮勘定 構築物	2億 3,235万円の増加 1億 3,201万円の減少	配水管の増加等による 減価償却が進んだこと等による
機械及び装置	6,684万円の減少	同上

(流動資産)

現金預金	3億 28万円の増加	工業用水道施設の建設等に 係る未払金が増加したこと 等による
------	------------	--------------------------------------

② 負債

負債合計は 103億 3,842万円で、前年度末に比し 0.3%、3,415万円増加している。

このうち、他会計借入金は固定負債と流動負債を合計すると59億 8,124万円であり、返還により前年度末に比し 2.2%、1億 3,723万円減少している。未払金は 3億 8,336万円であり、未払建設費が増加したこと等により前年度末に比し 351.6%、2億 9,848万円増加している。また、長期前受金は38億 9,722万円であり、長期前受金戻入による収益化により前年度末に比し 3.0%、1億 2,092万円減少している。

③ 資本

資本金は75億 1,486万円で、施設改良引当金取崩相当額の組入れ等により前年度末に比し 0.3%、2,128万円増加している。

利益剰余金は 3億 6,692万円で、当年度純利益の計上等により、前年度末に比し 11.3%、3,721万円増加している。

イ 財務比率

各年度末の流動比率及び自己資本構成比率の推移は第 7表のとおりである。

第 7 表 流動比率及び自己資本構成比率の推移

区 分	令和 4年度末	令和 3年度末	対前年度 増△減	令和 2年度末	令和元年度末	平成30年度末
	%	%	ポイント	%	%	%
流動比率 (流動資産/流動負債)	568.30	1,162.92	△ 594.62	740.63	947.68	733.05
自己資本構成比率 (自己資本/総資本)	64.65	65.32	△ 0.67	64.42	64.33	63.60

(注) 自己資本=資本金+剰余金+繰延収益
総資本=負債+資本

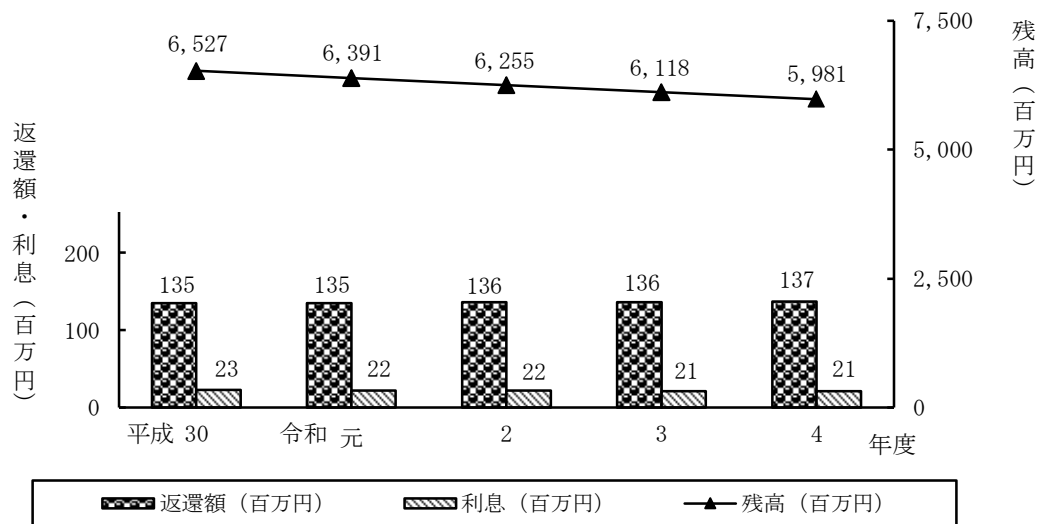
流動比率は、未払金の増減等により大きく変動しているが、高い比率を維持している。

自己資本構成比率は、横ばいとなっている。

ウ 他会計借入金の推移

他会計借入金の推移は第 2図のとおりである。

第 2 図 他会計借入金の推移



当年度の他会計借入金返済額は 1億 3,723万円となっている。この結果、他会計借入金残高は59億 8,124万円となっている。

また、当年度の他会計借入金利息は 2,129万円となっている。

【工業用水道事業】

(5) 資金状況

令和 4年度のキャッシュ・フロー計算書（要約）は第 8表のとおりである。

第 8 表 キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	令和 4年度
	千円
業務活動によるキャッシュ・フロー	502,740
当年度純利益	47,210
減価償却費等	578,378
長期前受金戻入	△ 123,554
その他	705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 66,511
固定資産の取得による支出	△ 65,147
他会計貸付運用金の貸付による支出	△ 4,000,000
他会計貸付運用金の受入による収入	4,000,000
その他	△ 1,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 135,948
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金 の返済による支出	△ 137,233
その他	1,285
資金増加額（又は減少額）	300,280
資金期首残高	598,768
資金期末残高	899,048

(注) 資金は貸借対照表における現金預金と同範囲である。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、当年度純利益を計上しており、実際に現金の収入や支出を伴わない減価償却費等や長期前受金戻入等を加味すると 5億 274万円の資金が増加した。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、辰巳浄水場の設備整備工事等に起因する固定資産の取得による支出等により 6,651万円の資金が減少した。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、他会計借入金の水道事業会計への返済による支出等により 1億 3,594万円の資金が減少した。

この結果、前年度末に比し、3億28万円の資金が増加し、期末残高は 8億 9,904万円となっている。

(6) 一般会計からの繰入金について

繰出基準による一般会計からの繰入金はなかった。

繰出基準以外で一般会計から繰り入れた金額は第 9表のとおりである。

第 9 表 繰出基準以外の一般会計からの繰入金

事 項	令和 4年度	令和 3年度	比較増△減	備 考
	千円	千円	千円	
一般会計出資金	1,285	1,336	△ 51	
資本的収入	1,285	1,336	△ 51	* 導水路建設に係る 負担額の一部
木曾川水系連絡導水路建設事業負担金 *	1,285	1,336	△ 51	
合 計	1,285	1,336	△ 51	